

平成30年度在宅医療・介護連携推進事業取組状況について

1. 在宅医療・介護連携推進事業8項目

項 目	内 容
ア 地域の医療・介護の資源の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療機関・介護事業所の分布、機能を把握し、マップ又はリストの作成 ・在宅医療の取組状況、医師の相談対応が可能な日時等の調査・結果を関係者間で共有、住民に周知
イ 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者等が参画する会議を開催し、在宅医療・介護連携の現状を把握し、課題の抽出、対応策等の検討
ウ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療・介護関係者の協力を得て、在宅医療・介護サービスの提供体制の構築
エ 在宅医療・介護関係者の情報共有の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パス等の情報共有ツールや情報共有の手順を定めたマニュアルを活用し、地域の医療・介護関係者間で、事例の医療、介護等に関する情報の共有を支援（電子@連絡帳）
オ 在宅医療・介護連携に関する相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ・医療・介護関係者の連携を支援するコーディネーターの配置等による、在宅医療・介護連携に関する相談窓口の設置・運営により、連携の取組を支援
カ 医療・介護関係者の研修	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療関係者に介護に関する研修会の開催、介護関係者に医療に関する研修会の開催 ・地域の医療・介護関係者が、多職種連携の実際等についてグループワーク等の研修会の開催
キ 地域住民への普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護サービスに関する講演会の開催 ・パンフレット、チラシ、広報、HP等を活用しての、地域住民の在宅医療・介護連携の理解の促進
ク 二次医療圏内・関係市町村の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・同一の二次医療圏域内にある市町村や隣接する市町村等が連携して、広域連携が必要な事項について検討

2. 主な取組状況

【会 議】

尾張中部地域在宅医療・介護連携推進協議会

協議会：1回（5月）実施

ワーキング部会：4回実施

【研 修】

① 地域包括ケアシステム在宅医療介護連携推進研修会

日にち：平成30年10月2日（火）

講演：「データを用いた地域課題の抽出とその解決策」

講師：名古屋大学総長補佐 水野正明医師

各市町報告、協議及び意見交換

② 尾張中部医療圏在宅医療・介護連携研修会

日にち：平成31年1月26日（土）

講演：「ACP（アドバンス・ケア・プランニング）とは」

講師：国立研究開発法人国立長寿医療研究センター 三浦久幸医師

グループワーク

③ 地域包括ケア経口摂取多職種連携研修会

日にち：平成31年2月21日（木）

テーマ：「要介護高齢者の経口摂取を支援する」～口腔観察シートを活用した事例から～ 講演及びパネルディスカッション

【きよすレインボーネットの運用】 資料2参照

平成30年9月5日（水）、9月6日（木）、9月7日（金）に移行説明会を2市1町において実施。

清須市実施：9月6日（木）18時30分から 28名参加

【国保レセプト分析】 資料3参照

【在宅医療サポートセンター】（平成30年度から市の事業）

目的：在宅患者が住みなれた地域で質の高い医療サービスを安心して受けられるように、地域の需要や実態にあった在宅医療を提供する体制の充実・強化を図るために、在宅医療連携体制を整備することを目的とする。

内容：国の示す在宅医療・介護連携推進事業の8項目を実施。

<主な活動内容>

- ・国保データレセプト分析、課題抽出
- ・他サポートセンター他地区医療機関との関係づくり
- ・多職種研修会等の開催
- ・在宅医療サポートセンターたよりの作成 等